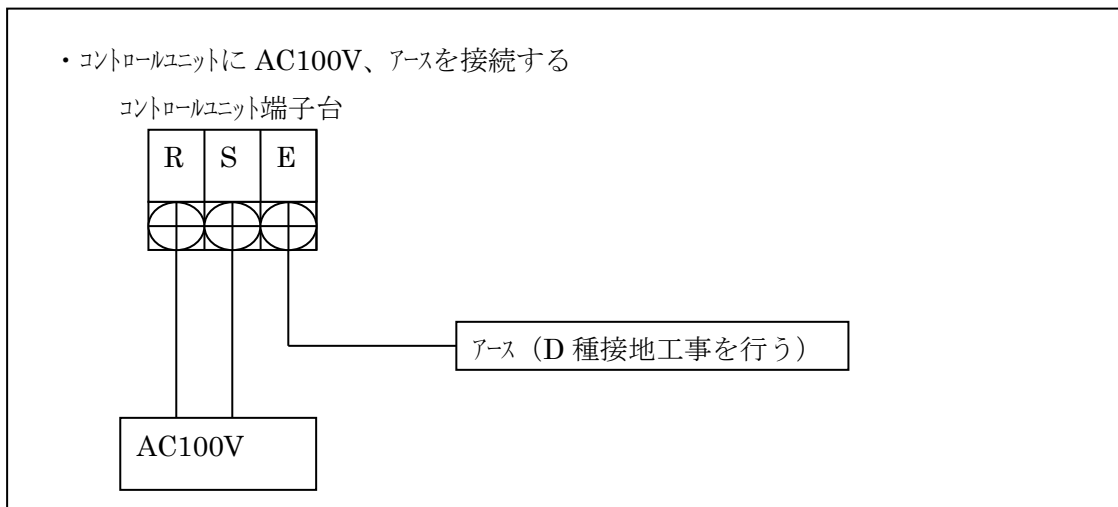


# BPC-C 工事説明書

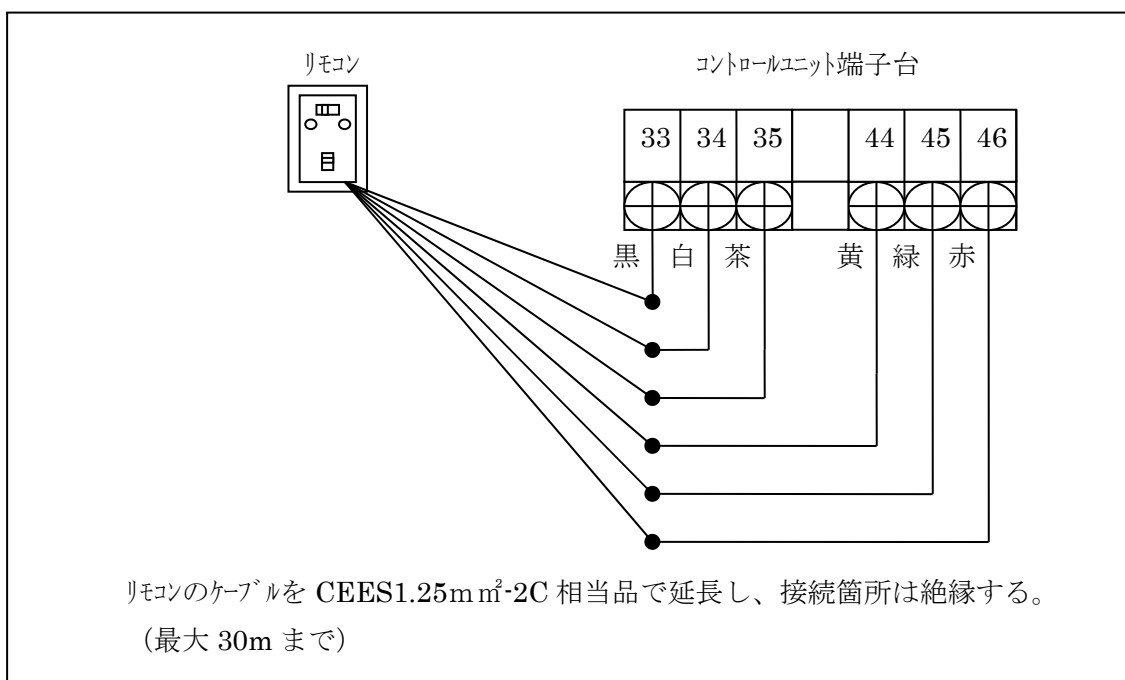
## 目次

AC100V、アースの接続 . . . . .	P2
リモコンの接続 . . . . .	P2
ポンプの接続 . . . . .	P3
カーミスタの取付・接続 . . . . .	P3
外部機器を接続する場合 . . . . .	P4
ホイラーとコントロールユニットの接続 . . . . .	P5～8

## AC100V、アースの接続

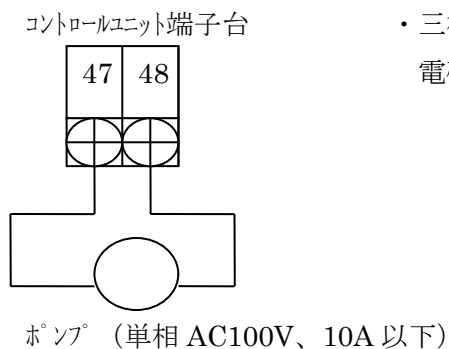


## リモコンの接続



## ポンプの接続

- ・コントロールユニットに循環ポンプを接続する



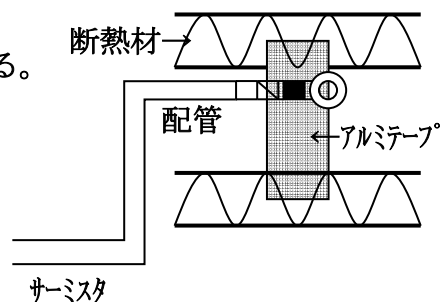
- ・三相ポンプを使用する場合は、電磁開閉器を使用する。

## サーミスタの取付・接続

注意：サーミスタはボイラー間の配管上には取り付けないこと。

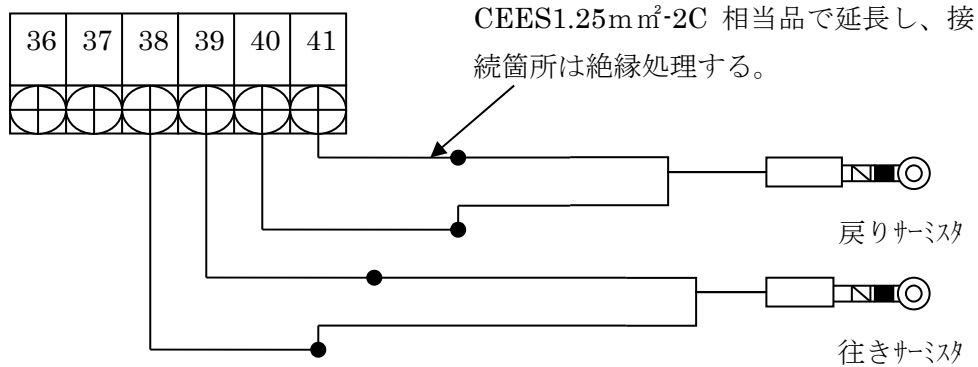
サーミスタを配管に取り付けるときは

1. サーミスタをアルミテープで配管に取り付ける。
2. 断熱材などでカバーする。



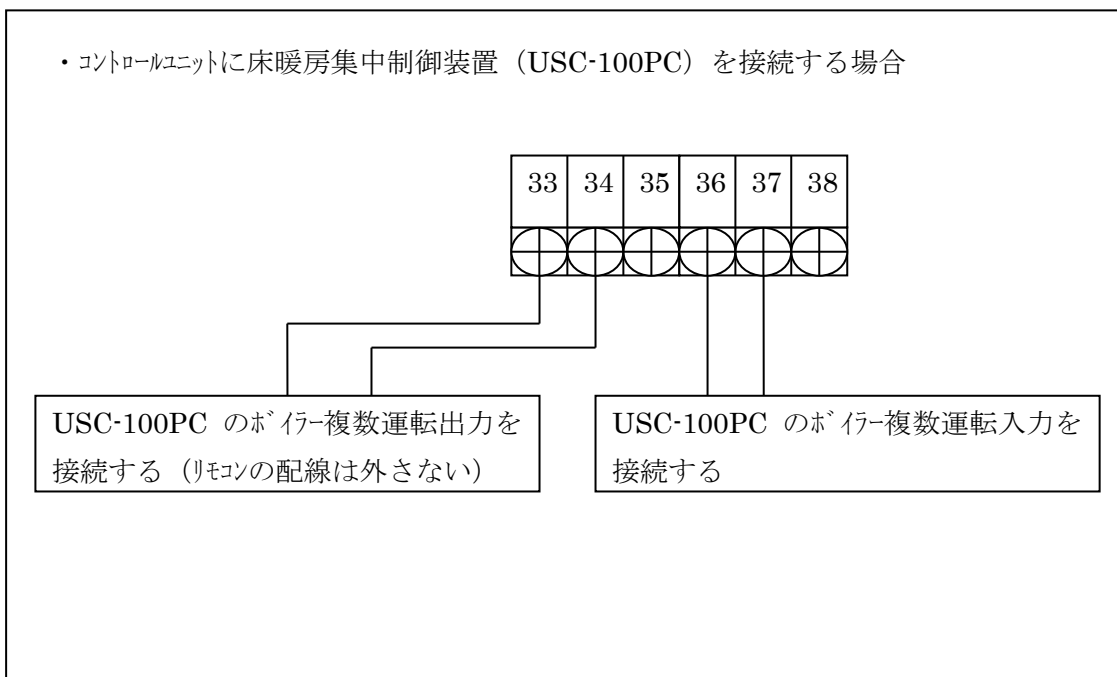
- ・コントロールユニットにサーミスタを接続する

コントロールユニット端子台



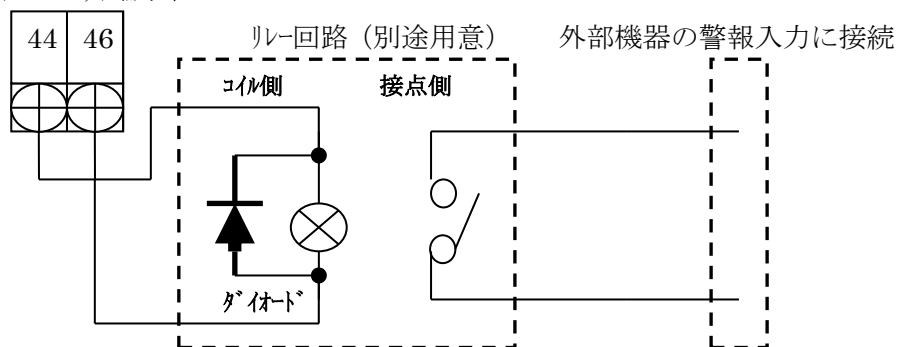
## 外部機器を接続する場合

- ・コントロールユニットに床暖房集中制御装置（USC-100PC）を接続する場合



- ・コントロールユニット警報出力を無電圧で取り出す場合

コントロールユニット端子台



コントロールユニット警報出力を無電圧で使用する場合は別途、DC24V リレーおよび、ダイオードをご用意いただき、図のようにリレーコイル側を端子台 44 番、46 番に接続し、リレー接点を外部機器の警報入力に接続して下さい。

(端子台 44 番、46 番はリモコンの線がつながりますが、一緒に接続して下さい。)

### ボイラーとコントロールユニットの接続

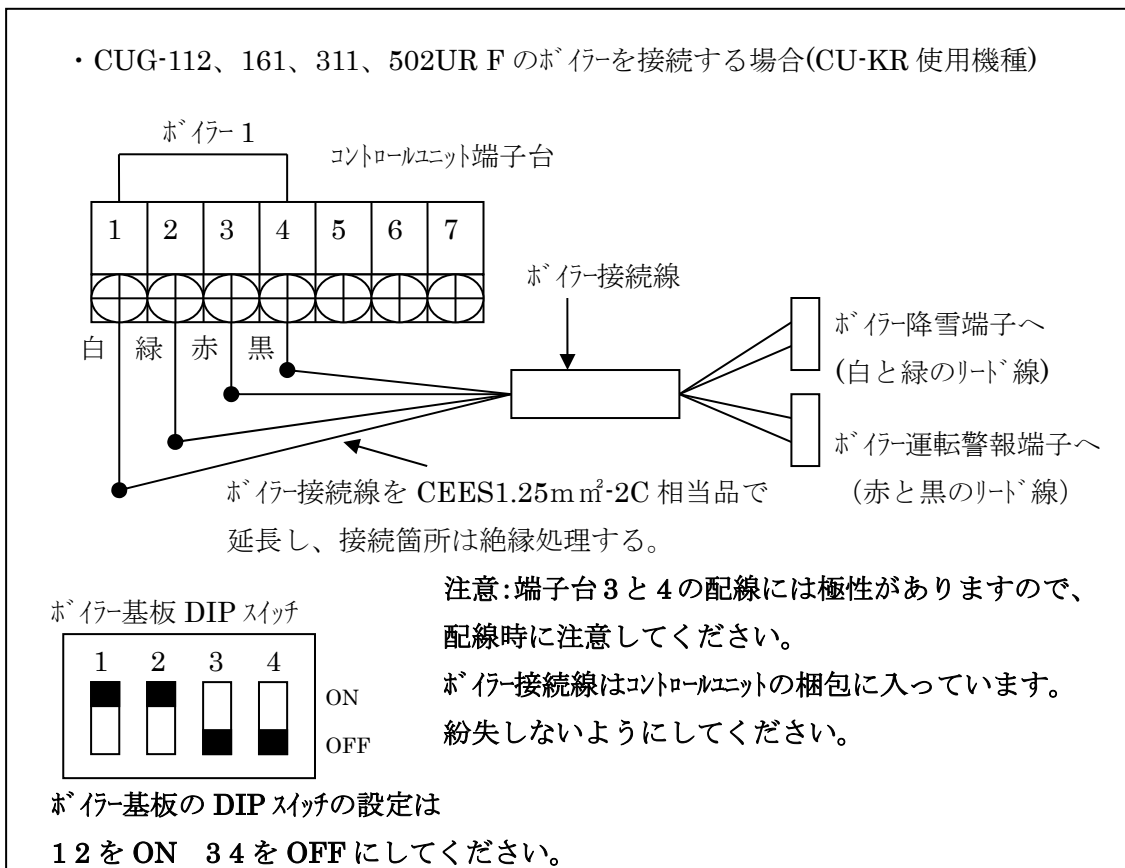
使用するボイラーによって、接続方法、設定方法が異なりますので、ご注意ください。  
また、各ボイラーには個別にボイラーリモコンが必要となります。

試運転時の注意：

ボイラーリモコン CU-KR 及び、CU-KRA 使用機種の場合は BPC-C とボイラーリモコンの運転スイッチが両方 ON で運転します。

CUG-523 タイプ、コフイルを使用した場合の場合はボイラー電源投入直後、ボイラーリモコンの運転スイッチ ON のみでボイラーが運転しますが、一度 BPC-C を運転→停止させるとボイラー基板がタイマー端子台の接点を認識し、次回より BPC-C で発停できるようになります。

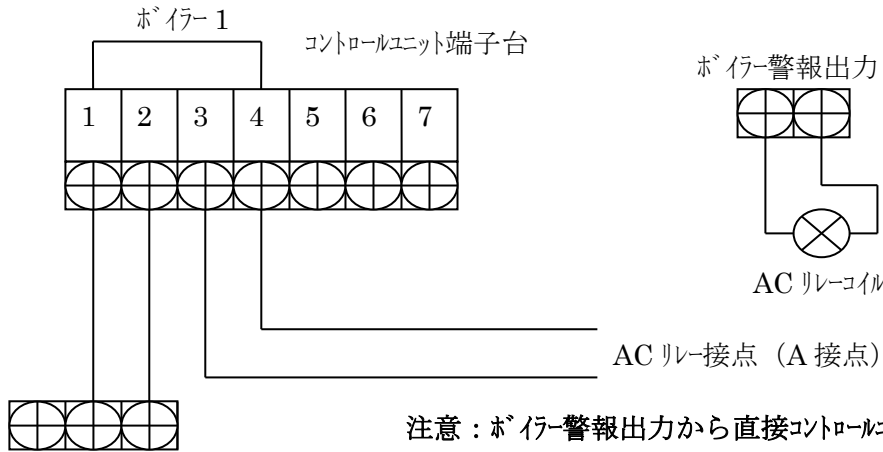
BPC-C を自動・タイマーで運転させる場合はボイラーリモコンの湯温調整を最大に設定して下さい。最大にしないと、BPC-C の湯温調整よりも先にボイラー側の湯温調整によりボイラーが停止してしまい、湯温が設定温度まで上がらない場合があります。



ボイラー 2～8 接続のコントロールユニット端子台はボイラー 2(5～8)、ボイラー 3(9～12)、ボイラー 4(13～16)、ボイラー 5(17～20)、ボイラー 6(21～24)、ボイラー 7(25～28)、ボイラー 8(29～32)となります。

ボイラー接続線はボイラー 1 と同様に端子番号の小さい順に白、緑、赤、黒となるように接続します。

・ CUG-523URE、CUG-703URE のボイラーを接続する場合

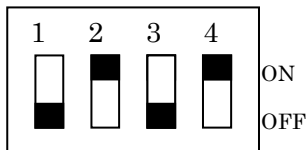


注意：ボイラー警報出力から直接コントロールユニットに接続しないでください。

※ ACリレーは別売りです。

ボイラー-タイマー端子台  
高と COM に接続

ボイラー-基板 DIP スイッチ



ボイラー-基板の DIP スイッチの設定は  
3 を OFF 2 4 を ON にしてください。

ボイラー 2～8 接続のコントロールユニット端子台は以下になります。

ボイラー 2(タイマー：5・6、警報：7・8)、ボイラー 3(タイマー：9・10、警報：11・12)、

ボイラー 4(タイマー：13・14、警報：15・16)、ボイラー 5(タイマー：17・18、警報：19・20)、

ボイラー 6(タイマー：21・22、警報：23・24)、ボイラー 7(タイマー：25・26、警報：27・28)、

ボイラー 8(タイマー：29・30、警報：31・32)

※注意 CUG-523URE、CUG-703URE は設置時及び基板交換時に BPC-C と連動運転させるために一度ボイラー-タイマー端子台の接点を ON→OFF し、ボイラー-基板に接点を認識させる必要があります。以下の手順で行ってください。

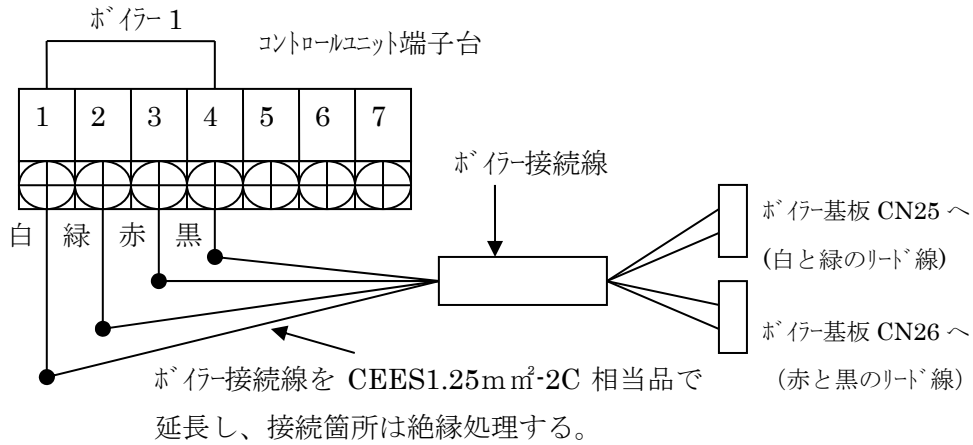
①ボイラーリモコンの運転スイッチを入れてボイラーを運転させる。

②下図の BPC-C 内部にあるボイラー-手動運転スイッチを ON→OFF する。

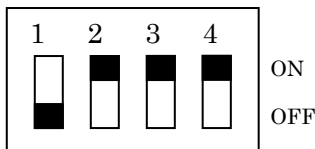
(ボイラー-手動運転スイッチの番号 1～8 はボイラー 1～ボイラー 8 の接点となっています。)



・ CU-KRA 使用機種のボイラーを接続する場合



ボイラー基板 DIP スwitch



ボイラー基板の DIP スwitch SW3 の設定は

**1 を OFF 2 3 4 を ON にしてください。**

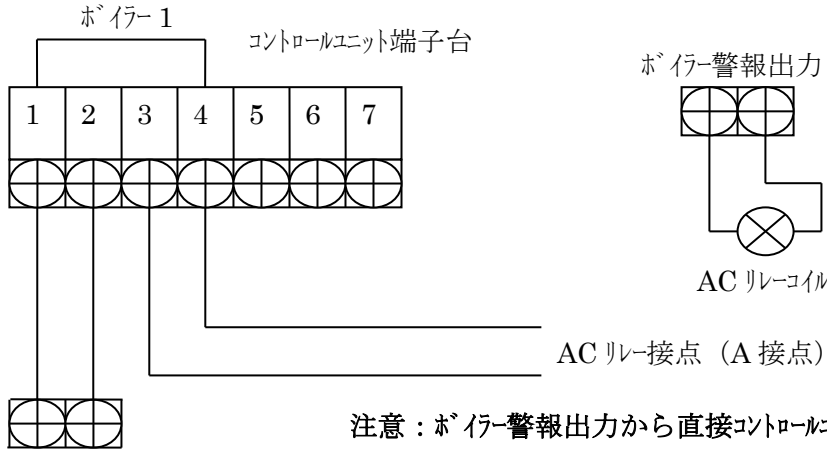
**注意: 端子台 3 と 4 の配線には極性がありますので、配線時に注意してください。**

ボイラー接続線はコントロールユニットの梱包に入っています。紛失しないようにしてください。

ボイラー 2～8 接続のコントロールユニット端子台はボイラー 2(5～8)、ボイラー 3(9～12)、ボイラー 4(13～16)、ボイラー 5(17～20)、ボイラー 6(21～24)、ボイラー 7(25～28)、ボイラー 8(29～32)となります。

ボイラー接続線はボイラー 1 と同様に端子番号の小さい順に白、緑、赤、黒となるように接続します。

・ CUG-E5903UR F、CUG-E4403UR F、CUG-5304UR、CUG-7004UR

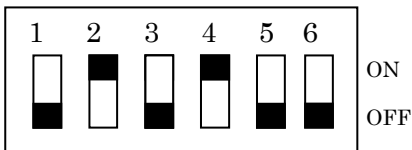


ボイラー-タイマー/E-CON 端子台  
に接続

注意：ボイラー-警報出力から直接コントロールユニットに接続し  
ないでください。

※ AC リレーは別売りです。

ボイラー-基板 DIP スイッチ



ボイラー-基板の DIP スイッチの設定は

1 3 5 6 を OFF 2 4 を ON にしてください。

ボイラー 2～8 接続のコントロールユニット端子台は以下になります。

ボイラー 2(タイマー：5・6、警報：7・8)、ボイラー 3(タイマー：9・10、警報：11・12)、

ボイラー 4(タイマー：13・14、警報：15・16)、ボイラー 5(タイマー：17・18、警報 19・20)、

ボイラー 6(タイマー：21・22、警報：23・24)、ボイラー 7(タイマー:25・26、警報:27・28)、

ボイラー 8(タイマー：29・30、警報：31・32)

※注意 上記のボイラーは設置時及び基板交換時に BPC-C と連動運転させるために  
一度ボイラー-タイマー/E-CON 端子台の接点を ON→OFF し、

ボイラー-基板に接点を認識させる必要があります。以下の手順で行ってください。

①ボイラー-リモコンの運転スイッチを入れてボイラーを運転させる。

②下図の BPC-C 内部にあるボイラー-手動運転スイッチを ON→OFF する。

(ボイラー-手動運転スイッチの番号 1～8 はボイラー 1～ボイラー 8 の接点となっています。)

